

金融高度化セミナー 資料

# パネルディスカッション資料

2013年11月  
みずほ銀行  
直投支援部

# 1. 進出企業への情報提供(みずほの対応)

## 専門部隊による情報提供

- ★国別に専門家を揃え、お客さまからの照会事項に対応
- ★プロジェクトサポート・ニーズにも対応

## セミナーによる情報提供

- ★お客さまからのニーズの高い国や産業、等に関するセミナーを随時開催
- ★海外ネットワークを活かし各国政府関係者も招待

## Webによる情報提供

The screenshot shows the Mizuho Bank website interface. At the top, there are navigation tabs for various regions: 中国 (China), 香港 (Hong Kong), タイ (Thailand), ベトナム (Vietnam), インド (India), インドネシア (Indonesia), 台湾 (Taiwan), 韓国 (South Korea), フィリピン (Philippines), マレーシア (Malaysia), シンガポール (Singapore), ロシア (Russia), ブラジル (Brazil), メキシコ (Mexico), アジア共通 (Asia Common), and Home. Below these are buttons for '一般情報を調べる' (Search general information), '進出早わかりで調べる' (Search for early entry), and '新着情報で調べる' (Search for latest information). The main content area is titled '新着情報' (Latest Information) and lists several news items with dates and brief descriptions, such as '中国 2013年5月29日 [中国] 2268号(中国)進出・外貨管理制度改革 直接投資と外債に係る裏手続を確定'.

## 月刊誌による情報提供



## 2. 進出企業の資金調達支援、財務戦略

～現地法人への資金調達支援～

### ローカル通貨

- ★ 現地拠点の設置が必要
- ★ 新興国通貨は一般に高金利

### 直貸

- ★ 通常USD、JPYなどに限られる
- ★ 各国外貨管理規制の対象

### スタンバイ・クレジット

- ★ 現地銀行との関係構築が必要
- ★ お客さまには高コストの可能性

※ 各国の資金調達・返済に関する規制には十分留意(借入枠、通貨、中銀登録 等々)

～現地法人への財務戦略支援～

### 取引通貨検討

- ★ 仕入・販売の通貨バランス

### 資金調達

- ★ 資金調達通貨のリスク認識  
(金利選好ー為替安定選好)

### 為替商品の活用

- ★ 為替予約、通貨スワップ等の活用

### 3. 取引先企業のリスク認識

---

- 銀行員のバリュー、技術とは。何が売りなのか
- 日本で銀行員がバリューを発揮するために必要な基礎インフラとは
- 日本の取引先の信用力把握と海外子会社に対する信用力把握で何が異なるのか
- 日本の銀行員が取引先海外子会社の信用力を把握するのに必要な環境とは？

#### <成功事例>

転貸先企業の視察・操業状況確認

#### <失敗事例>

子会社の操業はフル回転。しかし突然親会社から発行されるL/Cの決済が停止  
海外の出展攻勢でマカオで大型物件を押さえ入居保証金を日本から送金  
その後親会社が資金繰り行き詰まり倒産

### 3. 取引先企業のリスク認識

日本の銀行員のバリュー

海外で銀行員に必要とされるバリュー

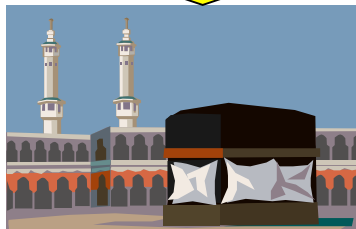


取引先海外進出に合わせた  
ノウハウの横展開

- ✓財務分析能力
- ✓事業性分析能力
- ✓調査能力
- ✓事例知見
- ✓産業知見
- ✓経済知見
- ✓実地調査

基盤  
インフラ

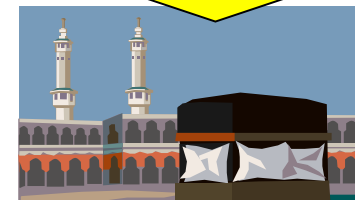
管  
債  
理  
権



- ✓財務分析能力⇒海外の決算書は読めますか？
- ✓事業性分析能力⇒海外子会社の事業性分析は？
- ✓調査能力⇒海外の販売先に対する信用調査や取引先製品の競争力、競合先の状況などの調査は？
- ✓事例知見⇒海外の同様な取引先の展開事例に知見は？
- ✓産業知見⇒進出する取引先の現地産業に対し知見は？
- ✓経済知見⇒進出先地域の経済に対する知見は？
- ✓実地調査は？

基盤  
インフラ  
？

管  
債  
理  
権



取引先海外進出

# 参考資料：親子ローンに関わる各種規制

## 各国への親子ローンに関する規制

	シンガポール	マレーシア	タイ	インドネシア	インド	ベトナム	ミャンマー	カンボジア	フィリピン	香港	中国	台湾
中銀登録等	不要	RM100M以上は要届出	不要	報告義務あり。1年超の長期、1年内の短期とも、全ての借入につき報告が必要	中銀の認可が必要。(条件によって自動認可、事前認可と分かれる。また実行後は毎月返済状況を中銀に報告義務あり)	1年超の長期は、事前届出が必要。1回で1,000万米ドル相当未満の場合、中銀地方支店へ登録、1,000万米ドル以上の場合、中銀本庁への事前登録が必要。	不要	1万米ドル以上の送金に関して中銀登録が必要。	①元利金返済時にペソから外貨転が必要の場合、事前に中銀承認(原則設備資金以外は認められない) ②USD10M/年以上調達する場合、毎年9月末までに次年度の調達計画を報告する義務あり	不要	外貨管理局への事前登録が必要	期間1年超の中長期借入の場合は中央銀行への届け出が必要
金額規制	なし	なし	外資企業の場合、借入は資本金の7倍が上限。内資企業の場合は原則として上限無し。	過小資本税制に留意。慣習上、資本金:借入=1:3以内といわれている)	借入期間・セクター等の条件によって異なる。可否、承認ルートは親会社からの資本金により異なる。	1年超の長期の場合、投資ライセンス上の「総投資額」-「資本金」の「借入枠」に空きがあることが必要。	現状無し	なし	なし	なし	「総投資額-資本金」で計算される「投注差」に留意。	非貿易被仕向け送金を受ける上限は5000万米ドル(中銀の届け出により上限金額の対象に参入されない)
通貨規制	なし	<外貨の場合>制限なし <リンギ建の場合>原則不可(不動産投資目的のみ可)	なし	ルピアは不可	なし	なし。但し、一部、口座開設自体が出来ない通貨有り。	チャットは不可。USD、EURが主体	なし。米ドル以外の通過の場合、口座開設自体が出来ない通貨有り。	原則ペソから外貨転は認められない	なし	特になし。人民元も可	台湾ドル建の親子ローン取扱不可。ローンの契約通貨は外貨建(日本円や米ドル)となる
返済時の要件	なし	なし	エビデンスとして親子ローンの契約書コピー、借入時の銀行口座入金照明コピーが必要。	原則、外貨建口座を利用し、資金を自由に国内外に送金可能。ただし、USD1万以上の外貨を国内外へ送金する場合は、インドネシア中央銀行へ報告が必要。	毎月、指定銀行経由で中銀に返済状況を報告する義務がある。	エビデンスとして親子ローン契約書や中銀登録のコピー等が必要。	都度外国投資委員会の認可が必要	なし	フィリピン中銀が発行する証明書(BSRD)必要	なし	返済に関する外貨管理局への届出が必要	中央銀行から「外債番号」を取得していない場合、借入利息の損金算入不可
その他留意すべき事項	適正な金利水準とすること。	適正な金利水準とすること。	適正な金利水準とすること。	適正な金利水準とすること。	資金用途制限等がECB規制で細かくルールが定められている。	資本金全額の払込が完了していること 適正な金利水準とすること。	外国投資法で設立した企業かつミャンマー投資委員会が承認した調達計画であること	適正な金利水準とすること。	ペソ建以外の外貨建借入に対しては利息に対して10%の源泉税要	適正な金利水準とすること。	資本金全額払込が完了していること	適正な金利水準とすること

(出所) 現地規制等より、みずほ銀行直投支援部作成

# 参考資料：主要金融機関

- 全般にローカル銀行のクレジットは低く(=貸出金利が高い)、また規模も小さい(貸出余力が低い)
- 一般的に日系企業の信用力に関する理解は低く、資金調達時は担保の要求など条件は厳しい
- これらの銀行に預金するさいも十分クレジットには留意する必要あり

	シンガポール	マレーシア	タイ	インドネシア	インド	ベトナム
<b>各国上位金融機関</b>	①DBS Bank ②AA- ③262,062 ④2,534 ⑤15.80% ⑥200 ⑦18,000名以上	①Malayan Banking Berhad ②A- ③136,388 ④1,530 ⑤15.45% ⑥2,200 ⑦約45,000名	①Bangkok Bank Public Co Ltd ②BBB+ ③66,483 ④873 ⑤15.35% ⑥1,054 ⑦21,503	①Bank Mandiri ②BB+ ③60,862 ④1,400 ⑤14.95% ⑥1,537(国内) ⑦27,907名	①State Bank of India ②BBB- ③357,693 ④3,122 ⑤13.70% ⑥14,097(国内) ⑦292,215名	①Vietnam Bank for Agriculture and Rural Development ②B(FITCH) ③26,872 ④130 ⑤4.82%(簡易) ⑥2,400 ⑦42,000名
①銀行名	①Oversea-Chinese Banking Corporation	①Public Bank Berhad	①Krung Thai Bank Public Co Ltd	①Bank Rakyat Indonesia	①ICICI Bank Limited	①Vietnam Joint Stock Bank for Industry and Trade
②格付(S&P)	②AA-	②A-	②BBB	②BB+	②BBB-	②BB-
③総資産(USD M)	③213,545	③78,505	③62,005	③51,820	③118,098	③18,860
④当期利益(USD M)	④1,906	④1,109	④537	④1,664	④1,552	④175
⑤BIS自己資本比率	⑤15.71%	⑤15.90%	⑤13.74%	⑤14.96%	⑤19.60%	⑤8.02%
⑥拠点数	⑥470	⑥252(国内)	⑥1,022	⑥427(国内)	⑥2,752	⑥1,272
⑦従業員数	⑦22,371名	⑦17,511名	⑦18,428名	⑦40,044名	⑦58,276名	⑦18,622名
	①United Overseas Bank Ltd. ②AA- ③182,178 ④1,800 ⑤16.72% ⑥500以上 ⑦20,000名以上	①CIMB Bank Berhad ②A- ③73,783 ④861 ⑤16.87% ⑥321(国内) ⑦20,000名以上	①Siam Commercial Bank Public Co Ltd ②BBB+ ③59,254 ④1,146 ⑤14.50% ⑥1,094カ店 ⑦18,097名	①Bank Central Asia ②Baa3(Moody's) ③42,116 ④1,193 ⑤13.27% ⑥918(国内) ⑦19,962名	①Punjab National Bank ②Baa2(Moody's) ③91,956 ④972 ⑤13.10% ⑥5,189 ⑦57,020名	①Joint Stock Commercial Bank for Investment and Development of Vietnam ②B+ ③18,327 ④148 ⑤n/a ⑥644 ⑦17,863名

※総資産、当期利益、自己資本比率のデータは、インドFY2012、ベトナムFY2010、それ以外の国FY2011

※拠点数、従業員数は参考数値

---

©2013 株式会社みずほ銀行

本資料は、金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。また、本資料はみずほフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。

本資料は、当行が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴社自身の判断にてなされますよう、また必要な場合には、弁護士、会計士、税理士等にご相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。

本資料の著作権は当行に属し、本資料の一部または全部を、①複写、写真複写、あるいはその他如何なる手段において複製すること、②当行の書面による許可なくして再配布することを禁じます。